

神奈川県立上溝南高等学校 保護者の心得講座

受験生の伴走者になるために

(株) ベネッセコーポレーション
首都圏支社 田澤雅也

	ご説明内容
1	大学入試の基礎知識
2	近年の入試環境変化
3	新課程入試で押さえておきたいポイント
4	受験を迎えるうえでお子様と確認しておきたい事項

【国公立大】

6教科8科目入試が中心

共通テスト（マーク式）＋個別試験（記述式や論文）

受験チャンスは前期と後期の2回（中期日程も含めると3回）

募集人員の多くが、前期日程である

【私立大】

3教科入試が大半

受験校数に制限なし

1回の試験の得点だけで合否が決まることが多い

入試方式		試験内容		特徴
個別入試			独自試験	各大学で 学部別 にそれぞれの日程で行われる入試
全学部入試			独自試験	同一日に複数学部の試験を実施 、一度の受験で 複数の学部・学科や方式に出願可能 なケースも
英語資格・検定利用入試		英語資格・検定試験	+ 独自試験	英語資格・検定試験 の結果と独自試験の結果で合否を判定
共通テスト 利用入試	併用式	共通テスト	+ 独自試験	共通テスト と 独自試験 の合計点で合否を判定
	共通テストのみ	共通テスト		共通テストの結果のみ で合否を判定

一般方式のみを受験した生徒よりも、一般方式と共通テスト方式の両方を受験した生徒の方が合格率が高い

私立大専願者にとって、共通テストを受験せずに大学の個別試験に絞って対策をする場合と、共通テスト対策にも時間を割く場合のどちらが合格率が高かったかを2024年度入試の結果で検証した。入試結果調査の受験大学に国公立大を含まない生徒のみを対象として、ある大学に一般方式のみで受験した生徒と、一般方式と共通テスト方式の両方で受験した生徒を分け、それぞれの偏差値帯別の合格率を比較した。下図のMARCHを例にとると、いずれの偏差値帯においても一般方式と共通テスト方式の両方で受験した生徒の方が合格率が高くなった。

私立大専願者の受験パターン別の偏差値帯別合格率（MARCH）

一般方式のみを受験

国英歴偏差値	合格者数	不合格者数	合格率
75以上	34	6	85%
70以上75未満	333	90	79%
65以上70未満	861	526	62%
60以上65未満	1266	1678	43%
55以上60未満	1051	2901	27%
50以上55未満	578	3115	16%
50未満	287	3973	7%

一般方式と共通テスト方式の両方を受験

国英歴偏差値	合格者数	不合格者数	合格率
75以上	51	5	91%
70以上75未満	364	40	90%
65以上70未満	790	263	75%
60以上65未満	742	652	53%
55以上60未満	420	816	34%
50以上55未満	200	660	23%
50未満	71	488	13%

* 2024年度入試結果調査より。国公立大の受験情報がある生徒を除いて集計。偏差値は第1回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試のもの。各大学について、一般方式のみを受験した生徒と一般方式と共通テスト方式の両方を受験した生徒を抽出し、1方式でもその大学の合格があれば合格者、1方式もその大学の合格がなければ不合格者として数えた。例えば、一般方式を3学部受験し、1学部が合格、2学部が不合格だった生徒は「一般方式のみを受験した合格者」とみなした。

一般方式のみを受験した生徒よりも、一般方式と共通テスト方式の両方を受験した生徒の方が合格率が高い

私立大専願者にとって、共通テストを受験せずに大学の個別試験に絞って対策をする場合と、共通テスト対策にも時間を割く場合のどちらが合格率が高かったかを2024年度入試の結果で検証した。入試結果調査の受験大学に国公立大を含まない生徒のみを対象として、ある大学に一般方式のみで受験した生徒と、一般方式と共通テスト方式の両方で受験した生徒を分け、それぞれの偏差値帯別の合格率を比較した。下図の日東駒専を例にとると、いずれの偏差値帯においても一般方式と共通テスト方式の両方で受験した生徒の方が合格率が高くなった。

私立大専願者の受験パターン別の偏差値帯別合格率（日東駒専）

一般方式のみを受験

国英歴偏差値	合格者数	不合格者数	合格率
70以上	51	7	88%
65以上70未満	227	30	88%
60以上65未満	625	229	73%
55以上60未満	1238	794	61%
50以上55未満	1551	1632	49%
45以上50未満	1255	2083	38%
40以上45未満	641	1611	28%
40未満	279	808	26%

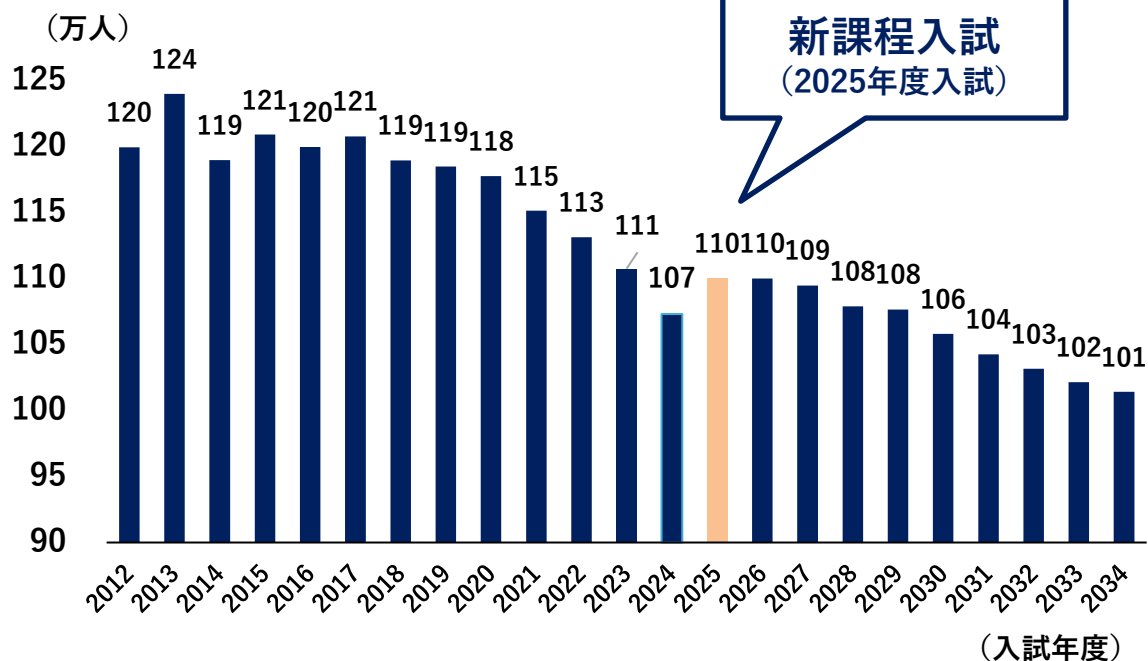
一般方式と共通テスト方式の両方を受験

国英歴偏差値	合格者数	不合格者数	合格率
70以上	27	2	93%
65以上70未満	194	8	96%
60以上65未満	422	83	84%
55以上60未満	695	257	73%
50以上55未満	663	452	59%
45以上50未満	394	478	45%
40以上45未満	154	353	30%
40未満	48	89	35%

* 2024年度入試結果調査より。国公立大の受験情報がある生徒を除いて集計。偏差値は第1回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試のもの。各大学について、一般方式のみを受験した生徒と一般方式と共通テスト方式の両方を受験した生徒を抽出し、1方式でもその大学の合格があれば合格者、1方式もその大学の合格がなければ不合格者として数えた。例えば、一般方式を3学部受験し、1学部が合格、2学部が不合格だった生徒は「一般方式のみを受験した合格者」とみなした。

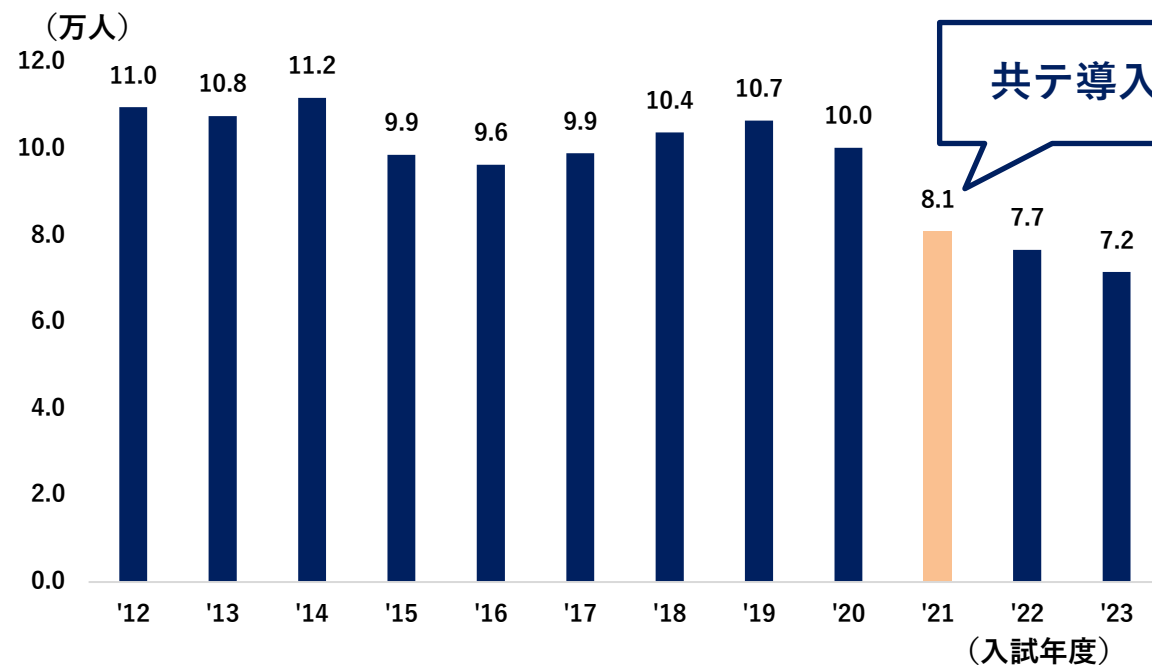
18歳人口は減少が続き、特に2024年度入試では大幅に減少（新課程入試前年）
共通テスト導入を機に、既卒生が大幅に減少

18歳人口の推移



※学校基本調査をもとに作成。

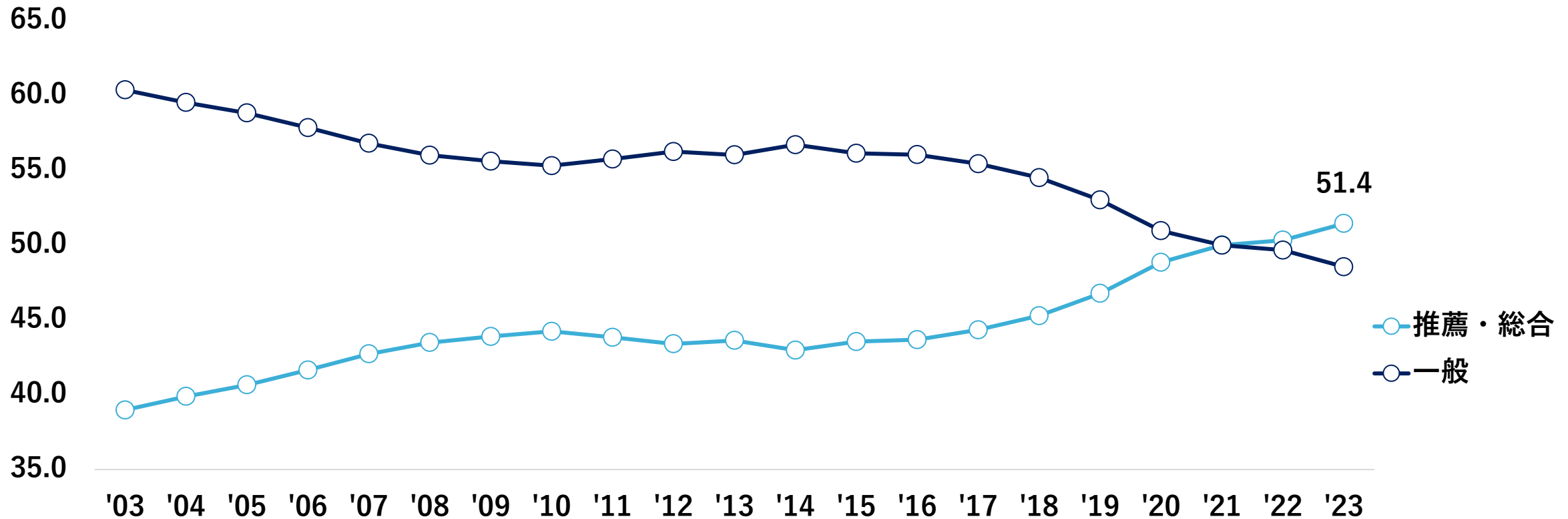
共通テスト（センター試験）既卒生の志願状況



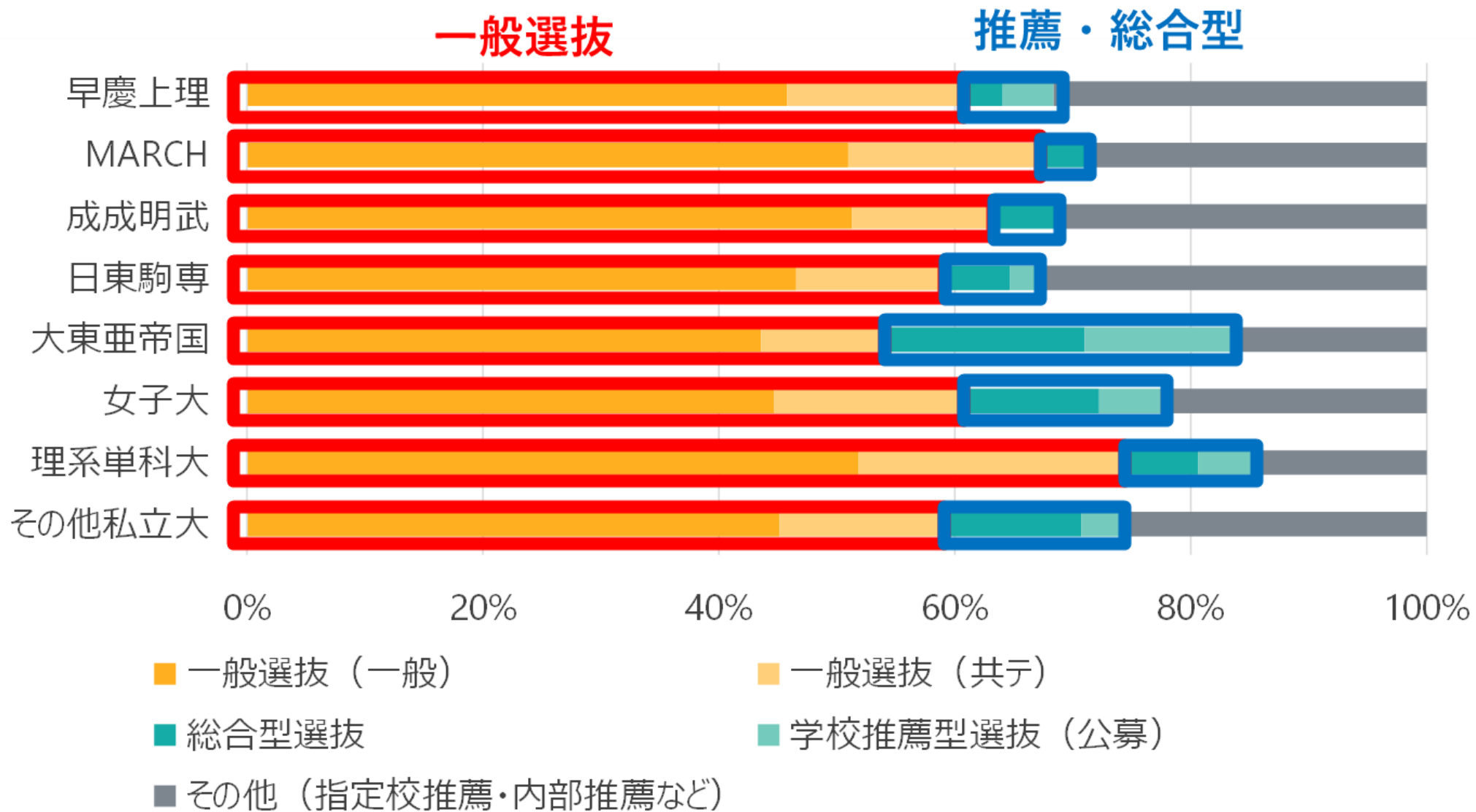
※大学入試センター公表資料をもとに作成。

学校推薦型・総合型選抜で大学へ入学した学生の割合は、2023年度には51.4%となった

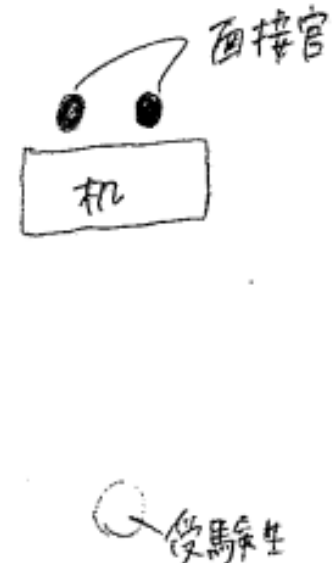
学校推薦型・総合型選抜の入学者数の推移



※文部科学省「国公立大学入学選抜実施状況」をもとに作成
 ※21年度以降は「その他の選抜」の区分が新設されたため、20年度以前に学校推薦型選抜に属していた一部の選抜が別集計となった
 ※値は「一般選抜、学校推薦型選抜および総合型選抜の入学者の合計」に対する各選抜の入学者の割合



①面接・口頭試問について

形式(○をつける)	個人面接 ・ グループ面接	質問内容・特徴・気づいた点など
面接時間	30 分 程度	<ul style="list-style-type: none"> 志望理由書について説明。 小論文の内容について説明 なぜ"AO入試を選んだ"のか。 小論文の内容について細かく質問される。 自分がその問題について取り上げた理由 大学は学びの場があるが、その中には自分が学びたいと思われない分野が含まれていることに関してどうあるのか。 卒業後の進路について
面接官	2 人	
受験者	1 人	
面接会場の机や椅子の配置図		

なぜ総合型を選んだのか？

何度も添削（志望理由書などの事前課題）

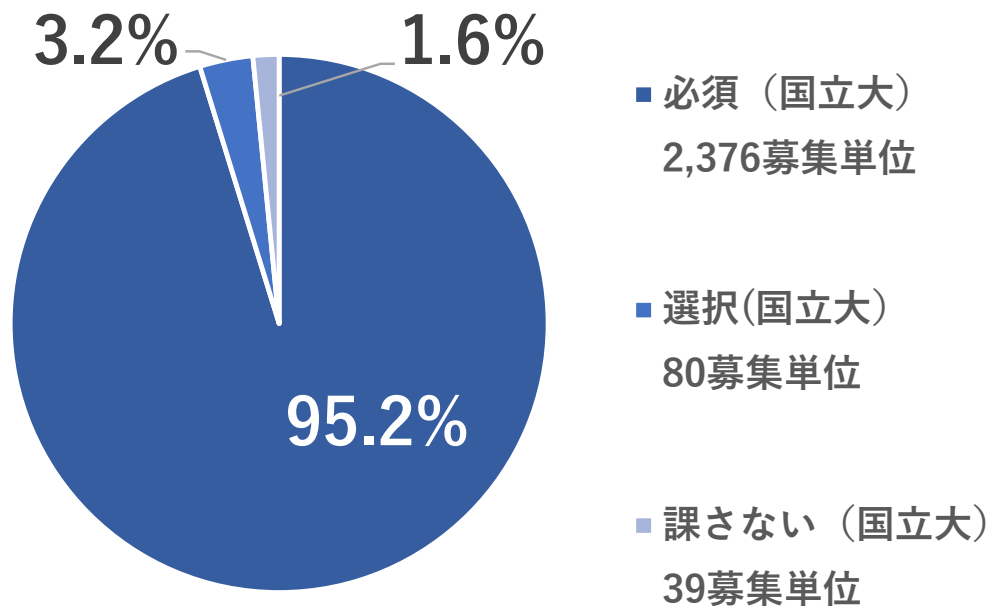
面接やプレゼン練習を重ねる

進学した後や卒業後の計画を具体的に立てる

- ① **不合格時に一般選抜へ切り替えることも想定しなければいけない**
- ② **正確な合格基準は誰も分からない中で受験対策を頑張り続ける「精神力」が必要**
- ③ **特殊な方式の総合型選抜を受ける場合などは志望校の独自の対策を行わなければいけない**

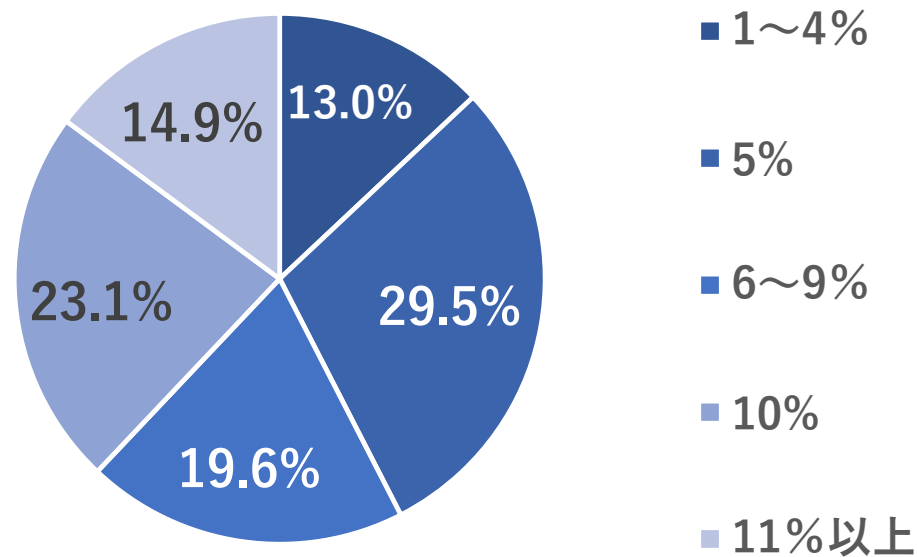
国立大学の一般選抜では95.2%の募集単位が「情報Ⅰ」を必須で課す
配点比率として最も多いのは5%

共通テスト「情報Ⅰ」の必須・選択等の比率



※2024年1月下旬時点の大学公表情報をもとに作成
※分析対象：該当情報公表が確認された2,495募集単位（大学・学部・学科・日程・方式）

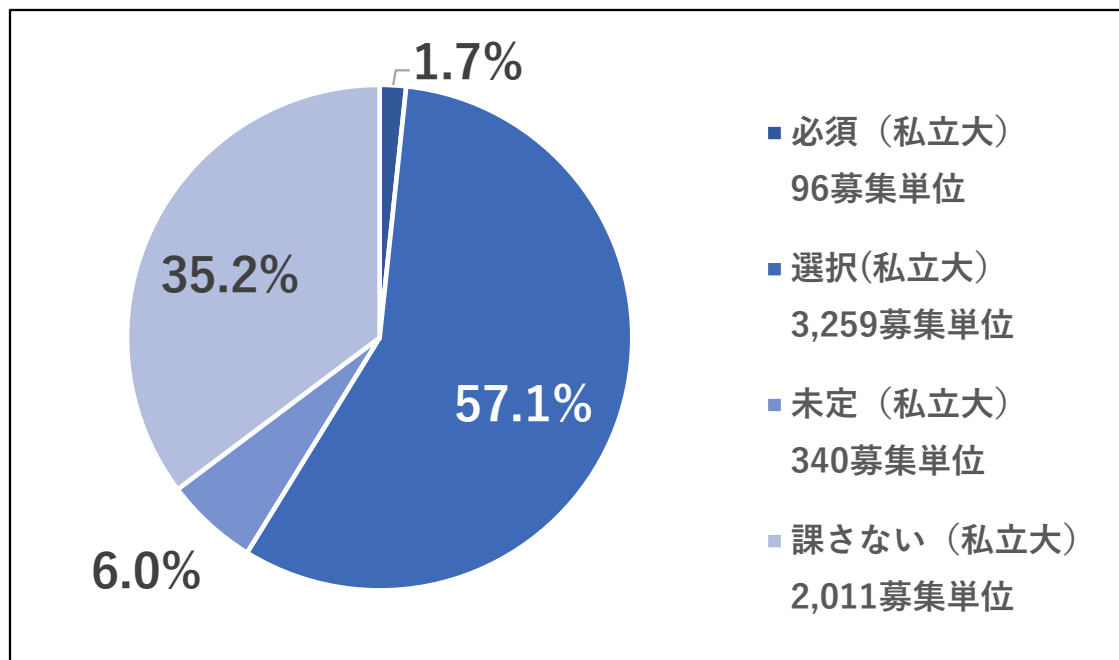
共通テスト「情報Ⅰ」の配点比率



※分析対象：該当情報公表が確認された1,816募集単位（大学・学部・学科・日程・方式）
※2024年1月下旬時点の大学公表情報をもとに作成
※以下の大学の該当募集単位を集計外とした
・北海道大、徳島大：情報は点数化しない
・東北大：数、理、英、情報の成績は1段階選抜のみに利用
・東京工業大：共通テストの得点は1段階選抜のみに利用
・高知大：情報はボーダーライン上でのみ加味する。
・島根大、山口大、鹿児島大、琉球大：教科・配点等に複数パターンあり
・九州大：6教科受験のうち、情報以外の5教科から高得点の2教科で合否を判定。

私立大 一般選抜（共通テスト方式）では57.1%の募集単位が「情報Ⅰ」を選択で課す

分析対象：該当情報公表が確認された
5,706募集単位（大学・学部・学科・日程・方式）



共通テストで「情報」を必須で課す募集単位を持つ大学・学部（私立大）

東京電機大や立命館大等では「情報」に重点を置いた入試方式を設置する。

大学名	学部名	日程	方式名	大学名	学部名	日程	方式名
専修大	ネットワーク情報	共	前期A S 後期情報必須型	南山大	理工	共	前期6教科型
東京電機大	工	共	前期4教科情報	立命館大	経営	共	併用情報活用型
	理工	共			産業社会	共	
	未来科	共			食マネジメント	共	
	システムデザイン工	共			理工	共	
	工	共	情報理工		共		
	理工	共	生命科		共		
	未来科	共	映像	共			
日本大	文理	共	C第1期	福岡工業大	社会環境	共	前期情報型
	都市生活	共	前期6教科基準点型		工	共	
	人間科	共			福岡工業大	情報工	共
メディア情報	共	工		共			
デザイン・データ科	共	情報工		共			
京都市大	情報工	共		前期6教科基準点型	環境	共	前期6教科基準点型
	環境	共			理工	共	
	理工	共			建築都市デザイン	共	
	建築都市デザイン	共					

※2024年1月下旬時点の大学公表情報をもとに作成

1

受験人口や既卒生受験の減少に伴い、
全体的に入試競争の緩和が進む

2

新課程入試の変更点、学校推薦型・総合型選抜の拡大
など、出願で考慮すべき事項が増え、複雑化が進む

3

共通テスト「情報Ⅰ」の追加、出題範囲の変化、
試験時間の延長等、学習面の負担が増加



慶応大：環境情報学部と薬学部は「数学」の出題範囲に数学Ⅲ・Cを追加します

試験範囲

明治大：総合数理学部先端メディアサイエンス学科は、全学部統一入試（3科目方式）を廃止します。国際日本学部は、一般選抜の募集人員を58→90人に増加します

入試方式や募集定員

玉川大：全ての学部において、英語外部試験スコア利用入試を廃止します。また、全学統一入試、給付型奨学金入試、地域創生教員養成入試では個別試験の「英語」を廃止し、共通テスト「英語」、または英語外部試験スコアを利用します

外部検定の利用方針

大学ごとに変更点は様々

挑戦校、実力相応校、安全校など入試難易度をバランスよく検討できている生徒は約半数

志望校記入数が少ない
または
入試難易が偏っている
47.8%

志望校の入試難易バランス

入試難易が偏っている

入試難易のバランスが良い

志望校
記入数

5校以上
77.1%

4校以下
22.9%

すべて
同じ判定
(A判定のみ、
E判定のみなど)

7.7%

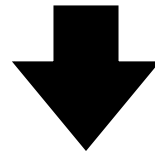
2種類の判定
(A判定とB判定のみ、
D判定とE判定のみなど)

17.1%

3種類以上の判定
52.2%

志望校記入数4校以下 22.9%

6人に1人



厚生労働省「新規学卒者の事業所規模別・産業別離職状況」より

高校時代に納得のいく進路選択をしなかったため、
途中で挫折してしまう先輩も多数いる。

改めてしっかりと自分の進路について考えることが重要！

「同じ大学の他学部に移りたい」

人に1人

大学生の学習・生活実態調査より

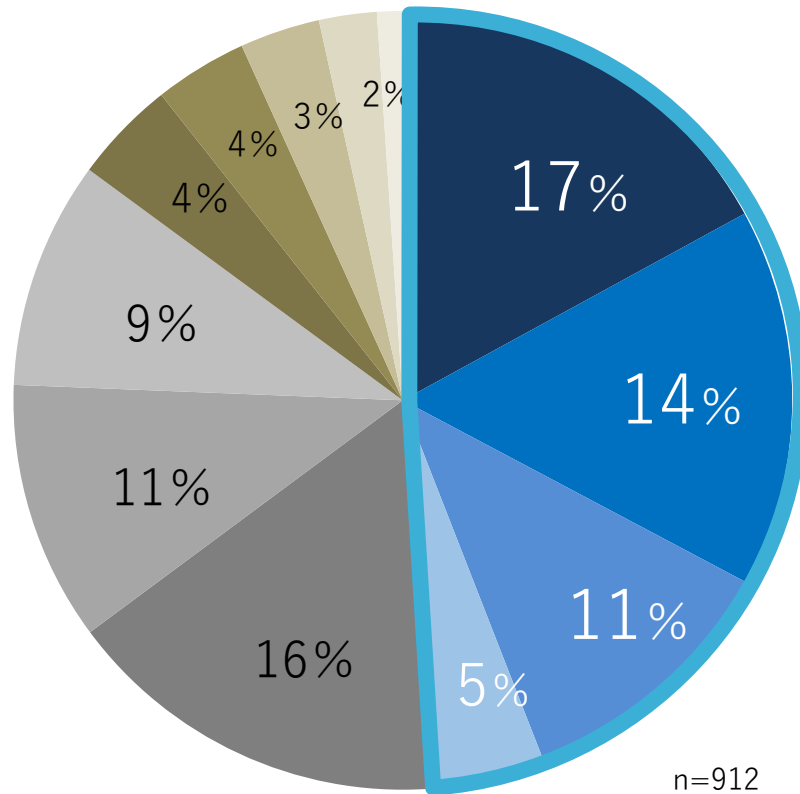
「他の大学に入り直したい」

人に1人

大学生の学習・生活実態調査より

専門学校生：退学または退学検討理由

合計：47%



- 具体的な将来がイメージできないから
 - 他の分野への興味が湧いたから
 - この職業分野が自分に合わないから
 - 仕事内容の責任が重いから
 - 授業内容が理解できないから
 - 留年の可能性があるから
 - 学校の授業が楽しくないから
 - 身体的な理由のため
 - 経済的な理由のため
 - 友人がいないから
 - 家庭内の事情のため
 - 就職を考えているから
- ※「その他」回答は除く

進路研究不足要因の退学が半数を占める

Type
A 子どもに**答え**を与える

 Type
B 子どもに**問い**を与える

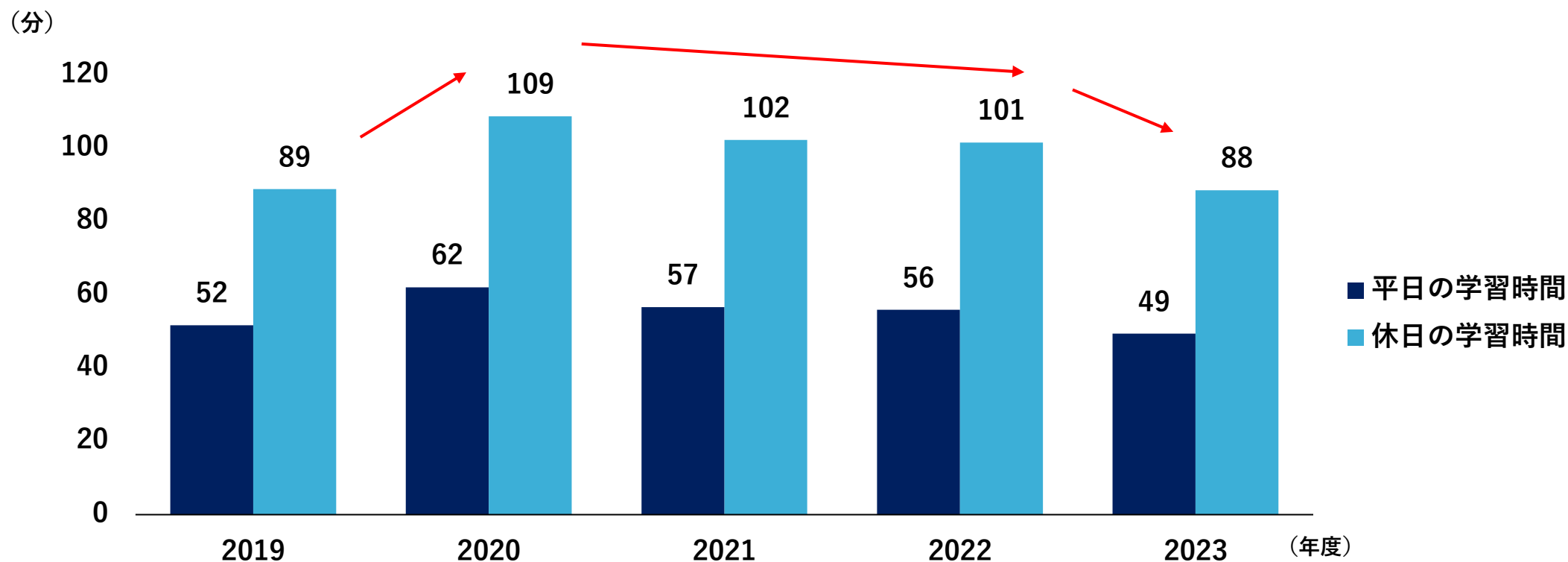
 ① 自分の意見を

 ② 自分の意見を

⇒今の入試・学力に直結

コロナの影響が弱まり、学習時間は2019年度以前に戻る
限られた学習時間の中で新しい内容に対応する必要がある

学習時間の過年度比較



*各年度のスタディーサポート2年生第1回の全国集計値をもとに作成
*年度によってばらつきはあるが、おおよそ45万人のデータを集計

MARCH

平日：2時間32分 休日：4時間11分

日東駒専

平日：2時間2分 休日：3時間30分

「毎日1時間は自学できる学生が欲しい」 (とある歯科衛生専門学校)

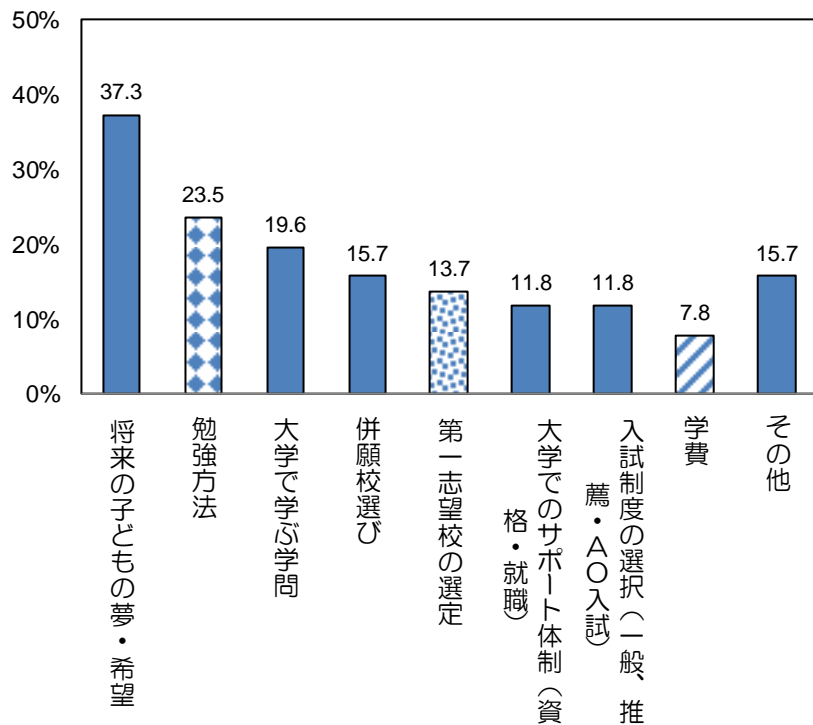
90分の授業に耐えられない学生が多くなってきました。また、努力ができない学生も増えており、進路も学校にお任せというスタンスで困っています。それではさすがに国家資格も就職試験も合格できません。また、入学してしばらくは聞き慣れない専門用語を覚えることから始まりますが、専門用語を覚えられない学生は、専門の授業についていくことができません。これは、英単語を覚えられない学生が英文を全く読めないことと同じです。他の教科においても世界史のカタカナの用語を暗記する、化学で元素記号を覚える、といった高校での学習範囲において覚える練習をしてきたかどうかで専門科目も差が出ています。

国家資格については、毎日最低でも1時間は自学できる学生でなければ絶対に合格できません。国語力も大切で、問題文を最後まで読み切れない学生は必ず引っ掛け問題でつまづきます。数学の力に関しては就職後、セメントの配分などの場面で、分数、比率の計算は必須です。また、患者に治療方法やリスクの説明をするために、統計資料の作成のような業務が発生することもあります。どのように数字を整理するべきなのかを考えられるようになって欲しいです。

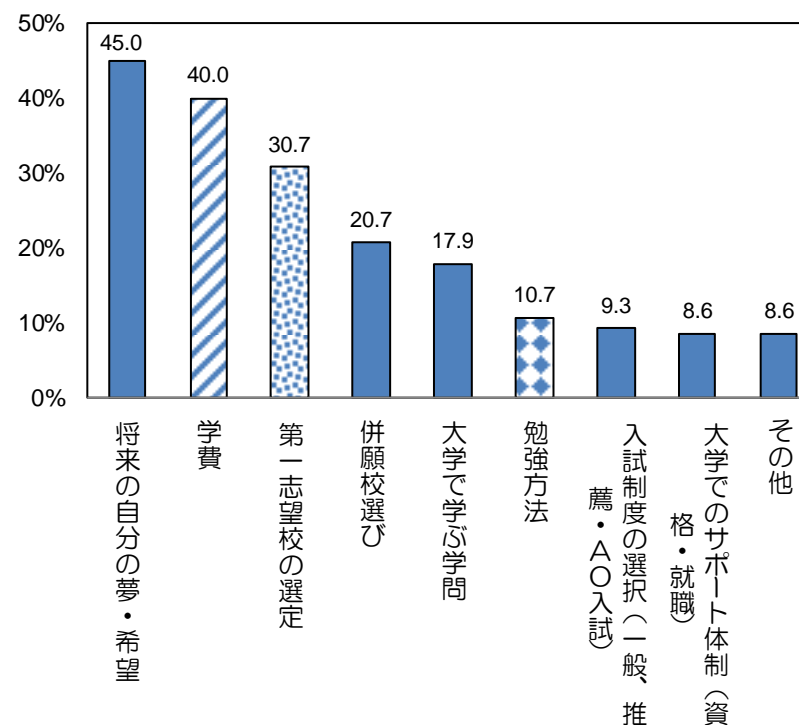
- ▶ 勉強しなさい！って大人に言われるとやる気なくなる。
- ▶ 大学の名前ばかりいわれて、自分の中では不安でいっぱいなのに、勉強しなさい、と連呼されたとき。一番嫌なのがこれ。
- ▶ 「○○はお前じゃ無理だ」など 希望を踏みにじるような言葉を言われたとき。
- ▶ 自分では結構いい点とれたと思っていたテストをお母さんに見せたら「あと10点あったらなあ」って言われた事。
- ▶ 父さんが大音量でテレビ見てるとき。

- ▶ 志望大学を決めた時、模試結果は良く無かったけど、それに対して「〇〇がそこに行きたいのなら、私は応援するよ」と母が言ってくれたこと。
- ▶ 前回に比べてちょっとしか伸びず自信を無くしていた時、親が伸びたことを褒めてくれた時。
- ▶ 先生に「人並みの努力では人並みにしかねない」と言われた時。次のテストで結果を出して褒められた時。どちらも。
- ▶ 親が自分の学費をやっとの想いで稼いでいる事を知った時。絶対現役で第一志望に合格して、感謝の気持ちを表そうと誓った。
- ▶ 母親が併願校と一緒に考えて、寄り添ってくれた時。応援されているんだなあと考えた。

保護者が相談に乗って あげればよかったと思うこと



子どもが保護者に相談 したかったこと



進研アド刊「マナビジョンブック2015・アンケート<保護者>」より

保護者と子どもで相談したい内容にすれ違いがみられます
お子さんが何を話したいのかを聞くことも大事です

テーマ1：
基本解説！入試の仕組みやスケジュール（約15分）

<https://youtu.be/nNRskSSR43k>



テーマ2：
直近の入試の振り返りと今年の実験生の傾向（約5分）

https://youtu.be/xYv_6y5bFLQ



テーマ3：
新課程入試に関する情報整理（約6分）

<https://youtu.be/kMi7KlgwSSg>



テーマ4：
大学受験に関するお金事情（約9分）

<https://youtu.be/Hrk3qgQVs0w>



テーマ5：
受験生を支える親のおすすめの関わり方（約5分半）

<https://youtu.be/TedZhv2fYrU>



全編まとめ（約36分）

<https://youtu.be/q8MZS9nqQg8>

